

阿蘇郡おぐにまち小国町の方言における
異形態の出現パターンについて

小川晋史
(熊本県立大学)

国立国語研究所

令和6年度 第2回「危機言語の保存と日琉諸語のプロソディー」合同研究発表会

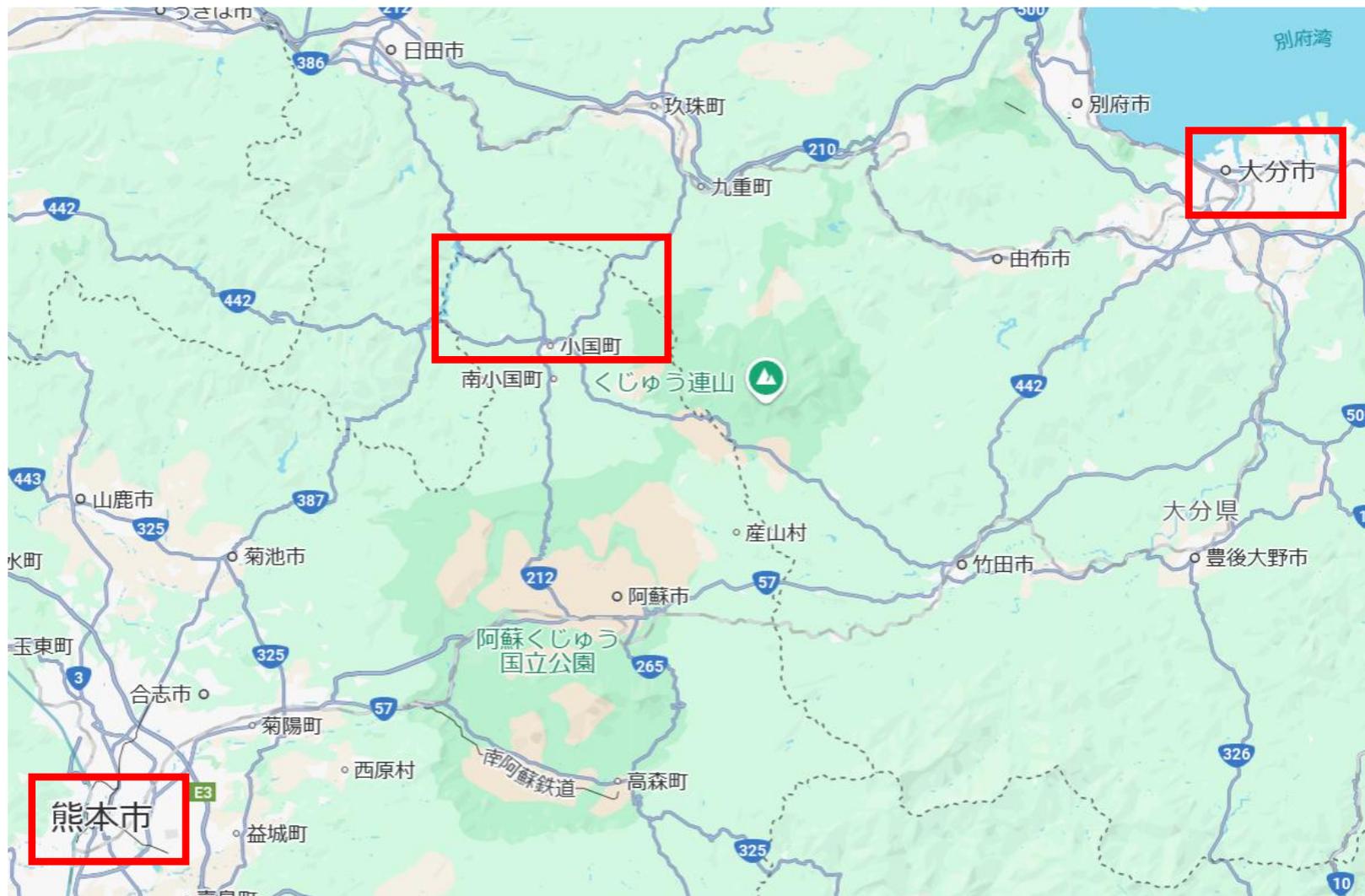
2025年3月15日(土)

発表要旨

熊本県阿蘇郡小国町の方言に見られる異形態の出現パターンについて分析した結果、母音および尾子音が2つのグループに分かれており、同じグループの音が連続することを避けるようにして異形態の音形が選択される傾向が強いことがわかった。本発表では主に助詞の異形態を取り上げて論じる。

熊本県阿蘇郡小国町“肥後小国”の位置

cf.山形県西置賜郡小国町



Googleマップより

小国町の人口と伝統的方言

- ・ 令和2年の調査で人口が6000人強。 (小国町2024)
- ・ 伝統的方言を使いこなすのは60歳でも厳しい。
- ・ 町内で伝統的方言が使いこなせる話者数は1000人程度か。
- ・ 本発表のデータは昭和19年 (1944年) 生まれの男性3名から対面調査で収集したもの (出身地域は上田・下城・北里)。
- ・ 小国町は熊本県 (熊本藩領) ではあるが、地理的に大分県に取り囲まれており、その方言にも豊日方言 (あるいは大分県の方言) と同じ特徴が散見される。

場所格の助詞に見られる異形態

方言形	共通語	備考
かみだ ジ	(上田で)	町内の地域名
しもんじょ ジ	(下城で)	町内の地域名
きたんさと ジ	(北里で)	町内の地域名
にしざと ジ	(西里で)	町内の地域名
くろぶち デ	(黒淵で)	町内の地域名
ほうらい デ	(蓬萊で)	黒淵地域の中心地
みゃんはる デ	(宮原で)	町内の地域名

ジ [dzi]

デ [de]

※二つ仮名の方言。

※方言の表記については、共通語に準じた仮名表記をして、注目している形式はカタカナで書いている。共通語訳を丸括弧で括った仮名・漢字交じり表記で示す。

本発表の主張

- ・小国町の方言では、母音および尾子音が2つのグループ（「“強”グループ」と「“弱”グループ」）に分かれている。
- ・異形態がある場合には、それぞれのグループの音が連続しないように異形態の音形を選択する傾向がとても強い。
- ・この現象に頭子音は関与しない。（無いのと同じ扱い）

表1：場所格助詞の分布（下線は例外的、{ } は両方を許容）

		場所格の助詞	
		ジ[dzi]	デ[de]
当該形態素（助詞）の直前	促音(=[t])	※促音で終わる名詞がない・有声重子音	※促音で終わる名詞がない・有声重子音
	撥音(=[n])		びじゅつかんデ（美術館で） おんせんデ（温泉で） ふれいんデ（フレイン（店名）で） ふいりぴんデ（フィリピンで）
	短母音[i]		みちデ（道で） みちのえきデ（道の駅で） うみデ（海で） くろぶちデ（黒淵（地名）で） ほうらいデ（蓬莱（地名）で） はわいデ（ハワイで）
	短母音[u]		ゆうびんきょくデ（郵便局で） ふくおかどーむデ（福岡ドームで） みやんはるデ（宮原（地名）で） いぎりすデ（イギリスで） ふらんすデ（フランスで） どいつデ（ドイツで）
	長母音[i:]	とりい {ジ/デ}（鳥居で） べるぎージ（ベルギーで） かしいジ（香椎（地名）で）	とりい {ジ/デ}（鳥居で） はんがりーデ（ハンガリーで） でいずにーしーデ（ディズニーシーで）
	長母音[u:]	かりふおるにあしゅう {ジ/デ}（加州で） くじゅうジ（九重・久住（地域名）で）	かりふおるにあしゅう {ジ/デ}（加州で） べるーデ（ベルーで）
	短母音[e]	ふね {ジ/デ}（船で） いえジ（家で）	ふね {ジ/デ}（船で）
	短母音[o]	ここジ（ここで） いんどジ（インドで） しもんじょジ（下城（地名）で） きたんさとジ（北里（地名）で） にしぎとジ（西里（地名）で） でいずにーらんどジ（ディズニーランドで）	
	短母音[a]	てんじょううらジ（天井裏で） やくばジ（役場で） かわジ（川で） かみだジ（上田（地名）で） こんなかジ（この中で） ろしあジ（ロシアで）	
	長母音[a:],[e:],[o:]	ちょうみんせんたージ（町民センターで） だいえージ（ダイエー（店名）で） くうこうジ（空港で） だいかんぼうジ（大観峰（地名）で） つうじゅんきょうジ（通潤橋（橋名）で）	みゃんまーデ（ミャンマーで）

2つのグループ

尾子音（促音・撥音）

短母音[i]

短母音[ɯ]

“弱”グループ

長母音[i:]

長母音[ɯ:]

短母音[e]

短母音[o]

短母音[a]

長母音[e:], [o:], [a:]

“強”グループ



頭子音

表2：具格助詞の分布（下線は例外的、{ }は両方を許容）

		具格の助詞	
		ジ[dzi]	デ[de]
当該形態素（助詞）の直前	促音(=[t])	※促音で終わる名詞がない・有声重子音	※促音で終わる名詞がない・有声重子音
	撥音(=[n])		すぷーんデ（スプーンで）
	短母音[i]		あみデ（網で） かぎデ（鍵で） はしデ（箸で） えいちデ（Hの鉛筆で） つまようじデ（爪楊枝で） ゆびデ（指で） くしデ（串で） しゃもじデ（杓文字で） ゆのみデ（湯呑みで）
	短母音[u]	こっぷ {ジ/デ}（コップで）	こっぷ <u>ジ/デ</u> （コップで） えんぴつデ（鉛筆で） ふおーくデ（フォークで） ないふデ（ナイフで）
	長母音[i:]	びージ（Bの鉛筆で） えいちびージ（HBの鉛筆で） かーどきージ（カードキーで）	
	長母音[u:]		
	短母音[e]	なべジ（鍋で） おけジ（桶で） あめジ（雨で） てジ（手で） ふねジ（船で）	
	短母音[o]	ぶりこジ（唐棹で）	
	短母音[a]	へらジ（篋で） さらジ（皿で） なたジ（鉋で） なばジ（茸で）	
	長母音[a:],[e:],[o:]	ほうちょうジ（包丁で）	

表3：共格助詞の分布（下線は例外的、{ }は両方を許容）

		共格の助詞	
		ツ[tsw]	ト[to]
当該形態素（助詞）の直前	促音(=[t])	※促音で終わる名詞がない	※促音で終わる名詞がない
	撥音(=[n])		みっちゃんトいく（みっちゃんに行く。） たなべさんトいく（田辺さんに行く。） いんトいく（犬に行く。）
	短母音[i]		あにきトいく（兄貴に行く。）
	短母音[u]		さるトいく（猿に行く。）
	長母音[i:]		
	長母音[u:]		
	短母音[e]	だれツいくな（誰に行くか？） だれツいっしょいくな（誰と一緒にいくか？） かめツ行く（亀に行く。）	
	短母音[o]	まごツいく（孫に行く。）	
	短母音[a]	おやツいく（親に行く。）	
	長母音[a:],[e:],[o:]	たろうツいく（太郎に行く。）	

表4：準体助詞の分布（下線は例外的、{ }は両方を許容）

		準体助詞（形式名詞）	
		ツ[tsw]	ト[to]
当該形態素（助詞）の直前	促音(=[t])		なんしょつな（何をしているのか？）
	撥音(=[n])		くわんとな（食べないのか？） いつんとな（いつのものか？） だれんとな（誰のものか？）
	短母音[i]		
	短母音[u]		たぶるとな（食べるのか？） しよるとな（しているのか？） おいちやると（置いてあるの）
	長母音[i:]	いいツ（良いの）	
	長母音[u:]	くうツな（食べるのか？） すうツな（吸うのか？） ぬうツな（縫うのか？）	
	短母音[e]	こおんめツ（小さいの）	
	短母音[o]	いつのツな（いつのものか？） だれのツな（誰のものか？）	
	短母音[a]	おりがツ（私のもの） だりがツ（誰のもの） もろたツな（もらったのか？） おいちゃったツ（置いてあったの） おおきなツ（大きいの） なんしょったツな（何をしていたのか？）	
	長母音[a:],[e:],[o:]	ふてえツ（大きいの） ふとねえツ（大きくないの） おおきのねえツ（大きくないの） こもねえツ（小さくないの） うめえツ（美味しいの）	

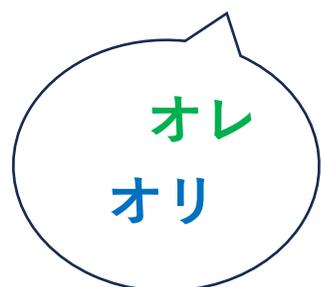
表5：接続助詞（テ形）の分布（下線は例外的、{ }は両方を許容）

		接続助詞（テ形）	
		チ[tci]（ジ[dzi]）	テ[te]（デ[de]）
当該形態素（助詞）の直前	促音(=[t])		うって（打って） とって（取って） けて（蹴って） ちぎって（千切って） むしって（糞って） いきよって（行っている）
	撥音(=[n])		のんデ（飲んで） とんデ（飛んで） かんデ（噛んで） よんデ（読んで） のんデ（飲んで） あそんデ（遊んで）
	短母音[i]		して（して） だして（出して） かいて（書いて） しちよいて（しておいて） もいデ（腕いで） といデ（碓いで） しゃいデ（漬して） およいデ（泳いで）
	短母音[u]		（おおくテから（多くて+から） 臨時的形式）
	長母音[i:]	きいチから（聞いてから） しいチから（敷いてから）	
	長母音[u:]	つうジ（飛んで・走って） すくうチから（掬ってから） ゆうチかえった（言って帰った）	
	短母音[e]	たべチ（食べて） こけチ（転けて） つれチ（連れて） おてちきた（落ちて来た） うしてチから（（打ち）捨ててから） けがさせチ（怪我させて）	
	短母音[o]	かもチ（構って） つこちやる（使ってやる） よこチ（休んで）	
	短母音[a]		
	長母音[a:],[e:],[o:]	せえチから（閉めてから） こうチ（買って） ほうちいく（這って行く） かようチくる（通って来る） おうチから（会ってから）	

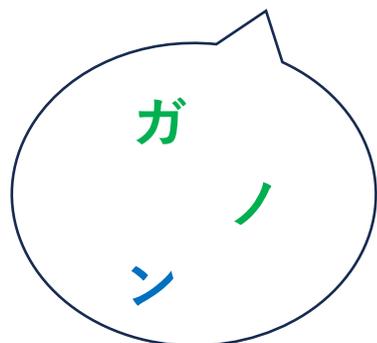
異形態が3連続する場合：「私のもの」*

「1人称＋属格助詞＋準体助詞」（「私のもの」）の並びにおいては、3要素のそれぞれが異形態を持つので、潜在的に…

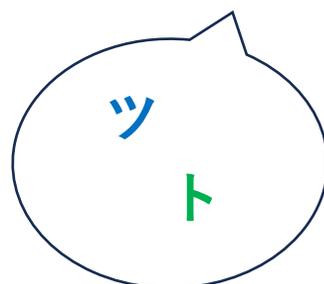
2通り × 3通り × 2通り = 12通り の可能性



1人称



属格助詞



準体助詞

*指導学生の米田梨都氏からの質問で気づくことができた。

話者の容認度が高い「私のもの」

弱 強 弱
オリガツ

強 弱 強
オレント

これらは、12通り中で3通りしかない強強あるいは弱弱の連続を回避する並びのうちの2つ。3通りのうちの残り1つは、「オリノツ」であるが、属格助詞「ガ」が1人称専用としての地位を有しているために1人称の異形態「オリ」に付く属格助詞としては「ノ」が排除されていると考えている。

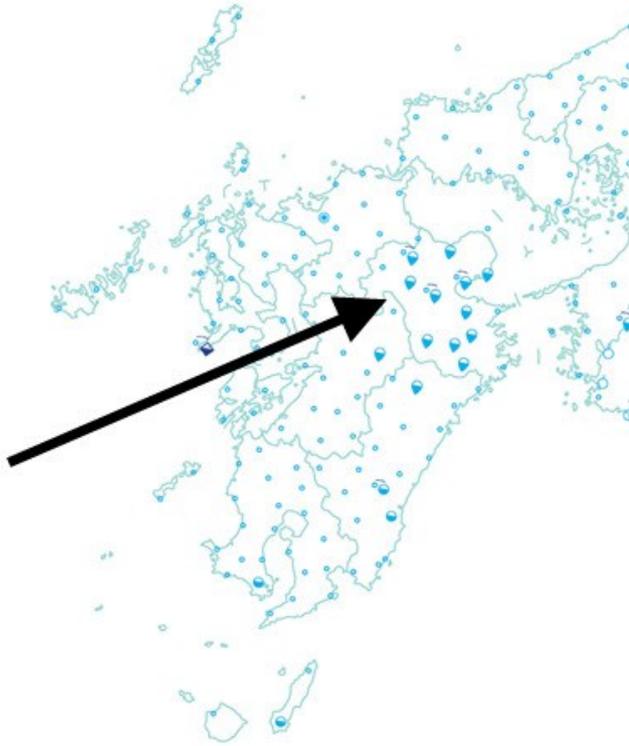
今後の課題

- ・小国町周辺での詳しい使用状況が不明。南小国町含め、発表者がまだ調査できていない。
- ・異化は同化より稀で、日琉諸語でも確実な例は少ない（平子ほか2024：31）とされているが、本発表で示した現象が発生した過程、通時的問題。
- ・類例。長崎県やぶろきしま藪路木島方言で「標準語の「も」に相当する助詞の異形態に「も」「む」「んも」があり、「も」「む」の選択に異化が関係している」（原田走一郎氏：私信）。

28 運動場[で] (遊ぶ)

質問文：「運動場で遊ぶ」と言うときの「運動
場で」のところはどのように言いますか。
<121>

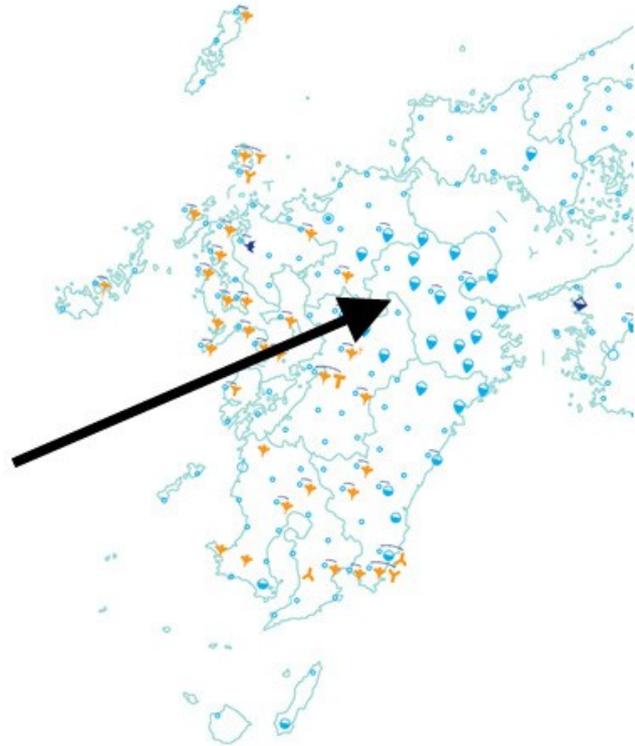
場所格



29 船[で] (来た)

質問文：「息子は船で来た」と言うときの「船
で来た」のところはどのように言いますか。
<123>

具格



○ <de> de, de 📍 <zi>

【図1】小国町周辺における「デ」と「ジ」の分布状況
(国立国語研究所(1989)をもとに作成した。)

引用文献

小国町（2024）「統計資料【人口】：小国町の人口及び世帯数の推移」
<https://www.town.kumamoto-oguni.lg.jp/q/aview/104/16.html>
2025年3月9日 last access.

国立国語研究所（編）（1989）『方言文法全国地図 1』大蔵省印刷局.

平子達也・五十嵐陽介・ペラール,トマ（2024）
『日本語・琉球諸語による 歴史比較言語学』岩波書店.